

## 事業概要

地域の課題に対して、参加者の相互学習を通して、深く掘り下げて学ぶ連続講座。受講者の知識習得のほか、自主的に何らかの取り組みに参加できるよう促すことを目標とする。

総実施回数	延べ参加者数	
	大人	保育
11	122	18

事業名	ちょっと気になるウチの子～理解して自分も子どもも楽になる～
講座の目的	学び舎ゼミとして「障害理解」をとりあげ、障害の認定まではいかなくとも、生きづらさをかかえ、困っている子どもたちの特性をいくつかのカテゴリーで話を聞き、専門家からの話を聞き、理解することで少しでもこれからの生活に活かせるものをもってもらいたい。
募集方法	8月号広報・HP・チラシ配架

第1回			
学習テーマ	気になるこどもたちのこと		
講師肩書・氏名	梅花女子大学心理子ども学部教授・伊丹 昌一		
日時	8月22日(日)	10時	分～12時
場所	市立公民館	参加者数	大人 25人 保育 3人
内容(概要)			
<p>診断の有無にかかわらず、子どもの困りごとに気づき正しく理解し適切な支援が大事という事から始まり、子どもの特性ごとの丁寧な支援の話となった。具体的な方法や孤立しない事など息の長い支援となる話もあった。参加者の悩みに寄りそい、勇気の出る内容で何より支援する保護者のしんどくならないようにという気持ちの切り替えなどの話が参加者の気持ちに響いていたように感じた。</p>			

第2回			
学習テーマ	母子登校・行き渋り～こどものキモチ、おとなのキモチ～		
講師肩書・氏名	ペアレンツキャンプ・教育アドバイザー 山下 真理子		
日時	9月25日(土)	13時30分	～15時30分
場所	市立公民館	参加者数	大人 19人 保育 3人
内容(概要)			
<p>家庭教育の大切さを中心とし、不登校になるきっかけや母子登校とはどういったものなのかなど、学校のとらえ方、家庭でのつらさの話があった。子どもの自立を促す考え方、大切に子どもとの関わり方などの内容だった。具体的なアドバイスなどの話もあった。</p>			

第3回			
学習テーマ	敏感さん・織細さん HSCのこどもたち		
講師肩書・氏名	とかちむつみのクリニック医師 長沼 睦雄		
日時	10月17日(日) 13時30分～15時30分		
場所	市立公民館	参加者数	大人 27人 保育 1人
内容(概要)			
<p>診断がつくものではないが、近年「敏感さん、織細さん」といわれるHSCのこどもたちの話を、学術的、症例、こどもたちの困りごとそして実際の質問に対する答えという形で講座をしてくださいました。事前に参加者への質問を聞いて下さり、その質問を基に丁寧に答えてくださいました。具体的な話から脳の仕組みまでの多方面の話だった。サポートする保護者がしんどくならないような居場所の大切さも言及してくださいました。(遠方のためリモートでの講座だった)</p>			

第4回			
学習テーマ	困った時がチャンス！ ネガ⇒ポジへ こどもが変わる		
講師肩書・氏名	金沢大学人間社会研究域人間科学系 村山 恭朗		
日時	11月20日(土) 13時30分～15時30分		
場所	市立公民館	参加者数	大人 12人 保育 4人
内容(概要)			
<p>非常にテンポよくとても具体的でわかりやすく保護者の気持ちに寄り添う話でなぜほめる事が良いのか、ほめるコツとして、こどもの行動に着目してのほめポイントとフレーズなどチャレンジする気になる講師の話だった。連休とコロナで人数が減ったのが残念だった。保護者が元気に前向きに取り組める内容で、困り事も見方をかえれば宝の山など気づきに溢れた内容だった。</p>			

第5回			
学習テーマ	わかちあい・ふりかえり～話すことで気づくことたくさん～		
講師肩書・氏名	公民館職員		
日時	12月4日(土) 13時30分～15時00分		
場所	市立公民館	参加者数	大人 7人 保育 14人
内容(概要)			
<p>①～④までを受けての振り返りで各々の感想、今の気持ち、やってみたことなどを話し合った。どの先生もこどもの困りごとなどの、話の中で日々向き合う保護者の大変さに触れ、悩みを共有できる居場所や気持ちを出せる場の大切さを話して下さっていたので参加者に声がけし年明けにもう1度集まることになった。</p>			

第6回			
学習テーマ	わかちあい・ふりかえり～話すことで気づくことたくさん～②		
講師肩書・氏名	公民館職員		
日時	1月22日(土) 13時30分～15時00分		
場所	市立公民館	参加者数	大人 3人 保育 2人
内容(概要)			
<p>3名の方が来て、それぞれの悩みなどの話になった。子どもの年齢が世代別にバラバラだったので将来の話や経験談を一番先輩から話してもらっていた。グループもあればいいという話になったが、人数が少ないのでまたの機会にということになった。</p>			

23年度 厚和田市立公民館・学び舎ゼミ

### ちよつと気になるウチの子

～理解して子ども自分も楽になる～

第1回  
8.22日

気になる子どもたちのこと  
伊丹真一氏

第2回  
9.25日

母子受け取り  
子どものキモチ  
オトナのキモチ  
山下真穂子氏

第3回  
10.17日

敏感さん  
HSCの子どもたち  
長沼穂穂氏

第4回  
11.20日

困った時がチャンス！  
スガーズシハ  
コドモが変わる  
村山壽朗氏

第5回  
12.4日

わかちあい  
ふりかえり  
話すことで気づくことたくさん  
公民館職員

なんだけ、何か引っこかる。・ちよつと心配。気になる子どもの話をスベシヤリストの先生から聞き、真のチカラを少し知って明日からの子育てに！

場所:厚和田市立公民館(第町1-1) \*全席無料付き

詳しい日程、時間、内容はウラへ！

学び舎ゼミ ちよつと気になるウチの子

～理解して自分も子どもも楽になる～

年間開催 引き続き！

日程	講師	内容	定員
1 8月22日(日) 10時～12時	伊丹真一氏 府女子大学心理子ども学助教授	様々な特性を持った子どもへの共通の対応や関わりを知り、心配し過ぎない、真のチカラを働いた子育ての1歩へ。	定員 40名 全席参加の 方便先
2 9月25日(土) 13時半～15時半	山下真穂子氏 ペアレンツキャンプ チーフ家庭教育アドバイザー	学校への付き添い、母子学校、五月原学校など子どもの気持ちを知り、子どもも自分も買めない日々の生活へ。	
3 10月17日(日) 13時半～15時半	長沼穂穂氏 ときまむつみのクリニック 医師 *公民館で作りモノでの開催です	HSC「敏感くんたちの夏」出版の長沼先生にHSCの活動と周りの人たちが出来る事、理解とサポート、希望の持てる1歩へ。	
4 11月20日(土) 13時半～15時半	村山壽朗氏 全朝夫学人社会科学研究会助教授	子どもの行動に迷わせるペアレントトレーニングをベースに、子どものキモチをアグアグにする子育ての手前で自分の執着を少し減らすアプローチで子どものキモチを。	
5 12月4日(土) 13時半～15時	公民館職員	参加しかなる振り返り、子育ての心算書、感じている事を共有し、自分と違う意見に触れて明日からちよつと違う自分で見出そう。	

場所: 厚和田市立公民館(第町1-1) 対象: 関心のある方だけでなく(全席参加の方便先)

申込・問い合わせ: TEL・直線・MAIL にて  
TEL: 072-420-9010 MAIL: chiritsouk\_housa@city.kichiwada.osaka.jp

\*定員: 1才半～小学3年生各回り各(いずれの講座も定員は1週間前申込締め切り)



第3回			
学習テーマ	食品ロスを削減！ ～プロから学ぶ冷蔵庫の整理・収納術～		
講師肩書・氏名	Happy Life 代表 山崎 由香 氏		
日時	2月20日（日） 13時00分～15時00分		
場所	市立公民館	参加者数	大人 8人 保育 1人
内容（概要）			
食品ロスは家庭でのロスが多く、まず冷蔵庫の中を見直すことから始める。買い物に行く前に冷蔵庫をチェックし使う分や食べきれぬ量を買うことや冷蔵庫内の整理整頓や掃除をすることで期限切れや腐敗を防ぐ。冷蔵庫の整理整頓することから食品ロスを考える。			

第4回			
学習テーマ	食品ロスがわかる「食べ残しNOゲーム」 ～このゲームで食品ロスに対する意識が変わる～		
講師肩書・氏名	NPO法人Deep People 中尾 榛奈 氏		
日時	3月6日（日） 13時00分～15時00分		
場所	市立公民館	参加者数	大人 3人 保育 人
内容（概要）			
食べ残しNOゲームを体験する前にワークシートを作成し食品ロスを考える。実際ゲームを体験することで食べ残しを未然に防ぐ方法を知り、食品ロスの仕組みを理解する。			

第5回			
学習テーマ	アクティブ・ラーニング		
講師肩書・氏名	公民館職員		
日時	3月20日（日） 13時00分～15時00分		
場所	市立公民館	参加者数	大人 2人 保育 人
内容（概要）			
参加者と食品ロスについて自分自身が取り組んできたことなどを意見交換し、食品ロス削減に私たちができることについて話し合う。			